

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・1 月予測） ～消費・雇用分野の回復が持続し 4 カ月連続プラス

2022 年 1 月 6 日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

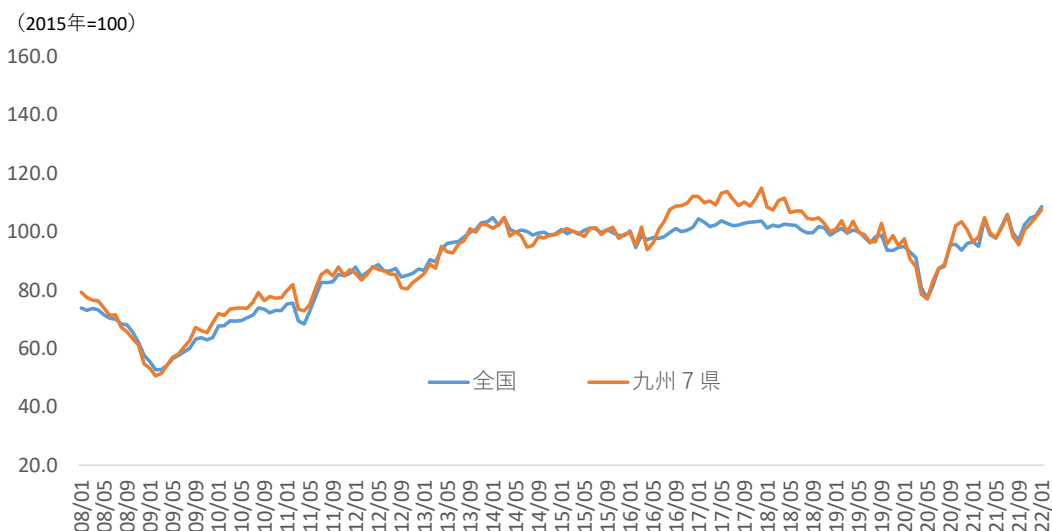
九経調では、2020 年 4 月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の 3 カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、2021 年 12 月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した 2022 年 1 月の予測 CI を解説する。

2022 年 1 月の九州 7 県の予測 CI：消費・雇用分野の回復が継続し 4 カ月連続プラス

2022 年 1 月における九州 7 県の予測 CI は前月比+2.5%の 107.6 となり、4 カ月連続でプラスとなった。都道府県 CI は、新型コロナウイルス感染者の減少等に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除により 2021 年 10 月にプラスに反転し、1 月もその傾向を継続するとみられる。回復を牽引するのは消費分野であり、先行系列は 10 月以降プラスとなり、12 月値は前月の当初予測よりも上昇した。1 月もその勢いを継続している。また、雇用分野も緩やかに回復している。以上のことから、都道府県 CI は、消費・雇用分野の回復に支えられ、緩やかな伸びを継続するとみられる。

全国は前月比+3.0%の 108.6 となり、九州を上回るペースで回復するとみられる。2021 年 10 月に緊急事態宣言等による行動制約が緩和されてプラスに反転し、2022 年 1 月もその傾向が続いている。

図 1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州 7 県）



注 1) 2021 年 10 月までは実績値（都道府県 CI）、2021 年 11～2022 年 1 月は予測 CI

注 2) 2022 年 1 月 4 日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2022年1月の九州地域の予測CI：9県中7県で回復

2022年1月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、9県中7県でプラスとなった。特に熊本県（前月比+6.6%）、鹿児島県（同+3.0%）、大分県（同+2.9%）でプラス幅が大きい。これらの県は消費分野に加えて雇用分野の先行系列の上昇幅が相対的に大きい。一方で、2カ月連続でマイナスとなった沖縄県は、消費分野の回復が鈍かったほか、1月は雇用分野の先行系列もマイナスとなり、他県より回復ペースが鈍化している。新型コロナウイルスの感染状況によって明暗が分かれる結果となった。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2021年 8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2021年 8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月
全国	99.6	97.1	102.4	104.8	105.5	108.6	▲ 6.0	▲ 2.5	5.5	2.3	0.7	3.0
九州7県	98.5	95.5	100.5	102.8	105.1	107.6	▲ 6.8	▲ 3.0	5.2	2.2	2.2	2.5
山口県	77.7	73.4	78.6	84.7	86.1	87.2	▲ 6.2	▲ 5.5	7.1	7.8	1.7	1.2
福岡県	84.6	83.2	95.1	98.0	103.8	105.0	▲ 12.4	▲ 1.7	14.3	3.0	5.9	1.1
佐賀県	77.1	69.9	82.8	87.9	95.5	97.7	▲ 11.1	▲ 9.3	18.5	6.1	8.6	2.4
長崎県	81.1	85.3	87.7	89.0	90.3	90.0	▲ 10.9	5.2	2.8	1.4	1.5	▲ 0.3
熊本県	114.4	117.0	121.2	121.9	122.1	130.2	▲ 2.5	2.3	3.6	0.6	0.2	6.6
大分県	86.0	88.6	90.6	94.5	94.5	97.3	▲ 10.9	3.0	2.3	4.3	0.0	2.9
宮崎県	95.1	94.2	101.7	107.5	108.0	110.0	▲ 7.9	▲ 0.9	8.0	5.7	0.4	1.9
鹿児島県	100.1	98.9	109.1	114.8	113.6	117.0	▲ 6.5	▲ 1.2	10.3	5.2	▲ 1.0	3.0
沖縄県	66.6	68.0	79.4	86.9	83.1	79.5	0.8	2.1	16.8	9.4	▲ 4.3	▲ 4.3

注1) 2021年10月までは実績値（都道府県CI）、2021年11～2022年1月は予測CI

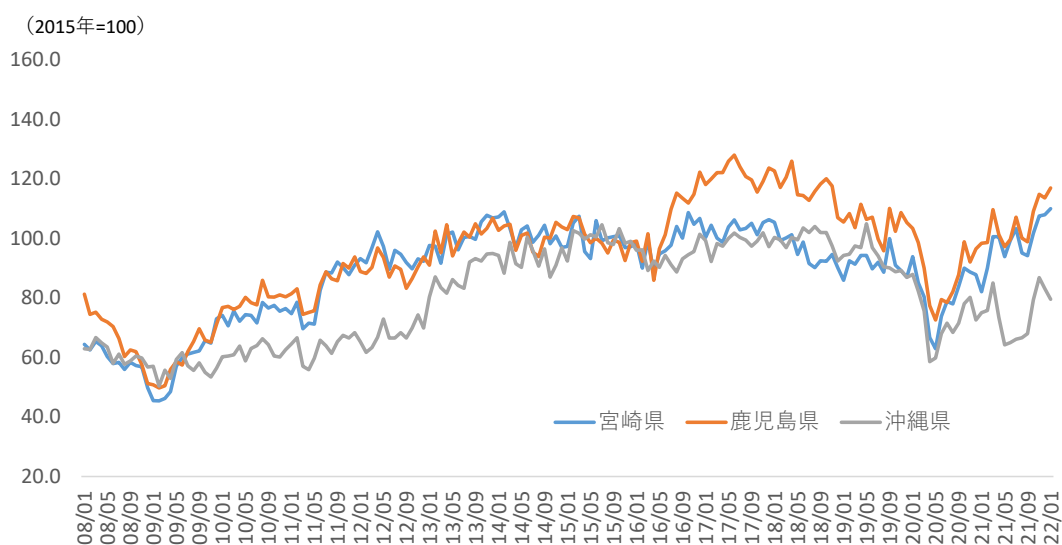
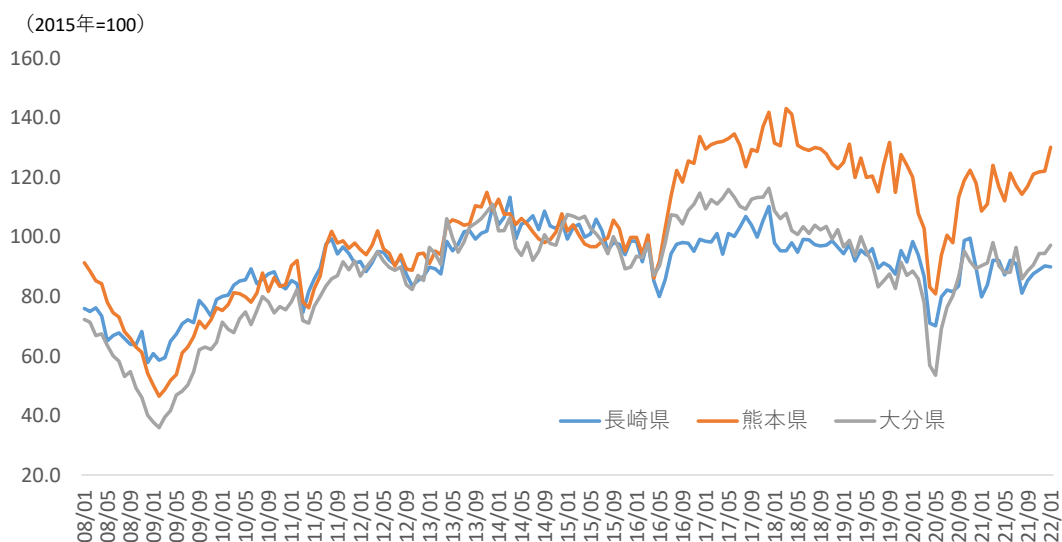
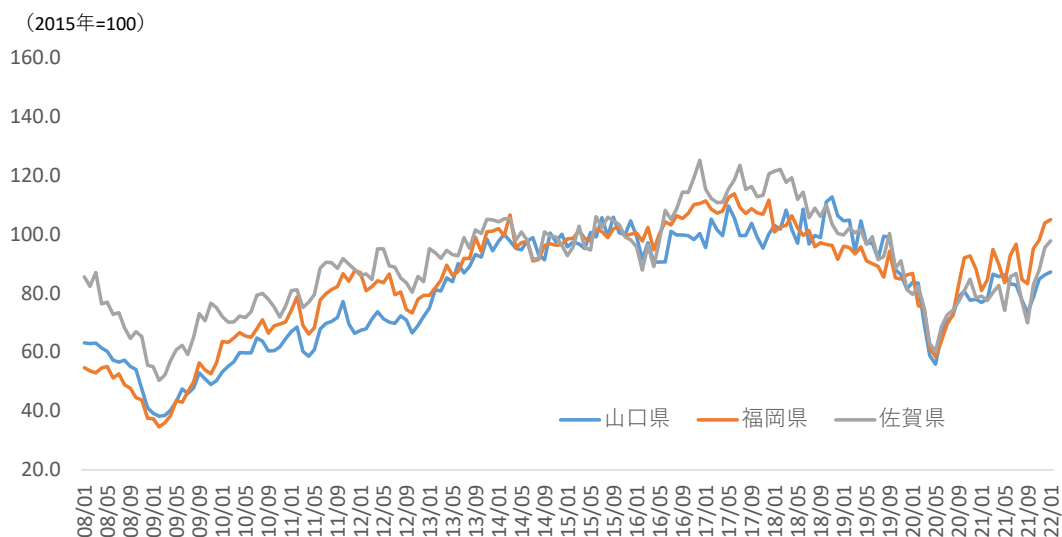
注2) 2022年1月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（事業開発部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2021年10月までは実績値(都道府県CI)、2021年11~2022年1月は予測CI

注2) 2022年1月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

-
- i 景気動向指数（CI）は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「CI 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

- ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ（気温や降水量）など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域（九州、沖縄県、山口県）の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号